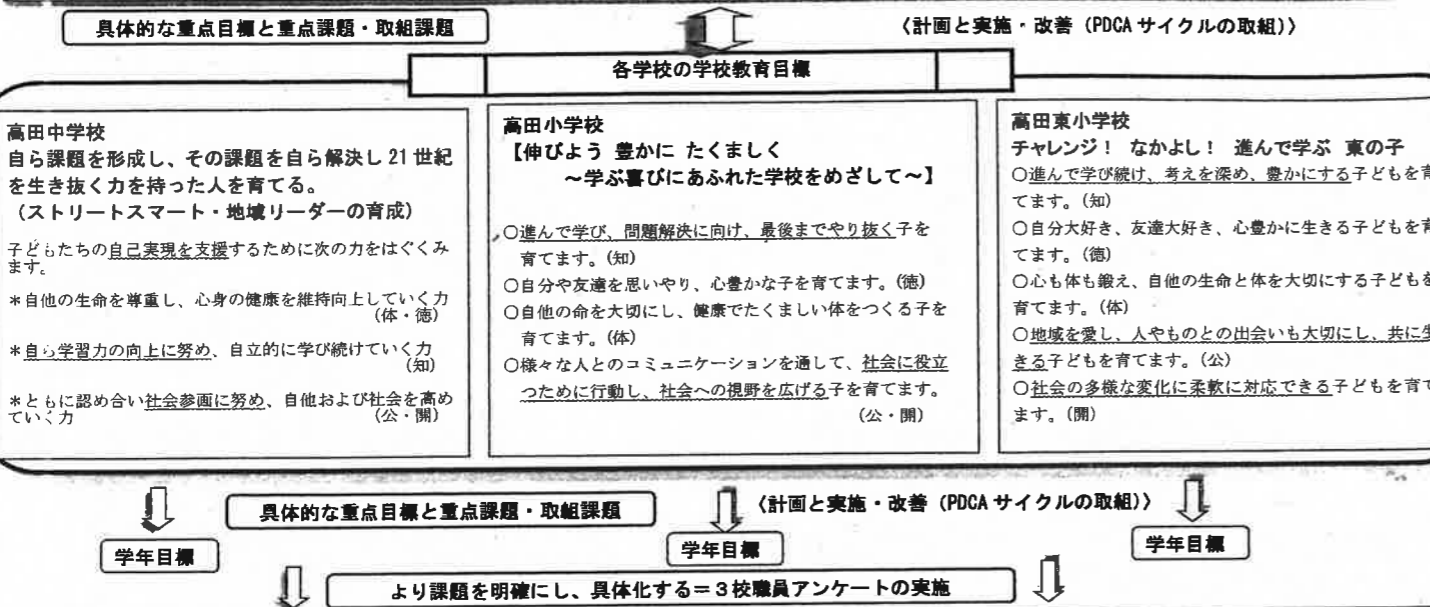


【学校で育てる子どもの姿】
 認め合い助け合う姿勢
 夢を持ち前進する姿勢
 自分に自信を持つ姿勢

【地域・保護者の願い】 【学校評価より】 【生徒の実態・教職員の意識】

日本国憲法・教育基本法・学校教育法
 教育関連法規・学習指導要領(国・市)
 教育振興基本計画・横浜教育ビジョン
 教育の今日的課題
【しっかり教えしっかり引き出す】

〈互いに連動し、常に最善の方向〉
 6つの重点課題 ・豊かな心の育成 ・健康でたくましい体の育成 ・国語力および学習の基礎的能力の育成 ・コミュニケーション能力の育成
 4つの具体的取組 ・情報社会を生き抜く能力の育成 ・社会の変化に対応する能力の育成 ・個に応じた教育の実践
 ・「横浜の時間」の創設 ・外国語活動の推進 ・読解力の向上



高田中ブロックの子どもたちの課題 (アンケート結果より)

〈学習編〉【関心意欲に関すること】
 ・学習態度が良いが、学習態度=理解力に直結しているとはいえない。9年間を通して達成感をもたせるような基礎学力の定着への取組が課題。

〈学習編〉【表現・判断力に関すること】
 ・「資料を活用する力」「自分の意見を発表する力」「自分の言葉で表現する力」「資料を収集する力」「ICTを利用する力」の全てに課題がある。
 ・「自分の意見を発表することができる」は小学校では高い数値を示すが、中学校になると生徒の学習への自信のなさに関連し、低くなる傾向がある。

〈学習編〉【日常化に関すること】
 ・「表現・判断力」の中で見られた傾向は、「日常化」の中ではなおいっそう顕著である。
 ・「学習したことを日常の生活に役立てることができる」が特に低く、学習が日常生活の糧になっているというところが非常に弱くなっている。
 ・この傾向は「学習したことを自分で調べるなどさらに追求しようとしている」という質問でも、中学校の結果はおなじように否定的である。それに対して、小学校では「日常化」での質問より数値がかなり肯定的である。この傾向から、9年間の中で、「主体的な学習」などのテーマ設置が必要と考えられる。

〈日常生活編〉
 ・「決まりを守って生活している」「自分の仕事をやり遂げようと努力する」は肯定的、「自ら考えて行動している(主体的行動)」「自分の考えを自分の言葉で相手に伝えていく(個性の伸長)」「自分の目標がしっかりある(将来)」は否定的な結果がでている。9年間の中で、学年が進むと数値が低くなる傾向がある。

〈全体を通して〉
 ・高田ブロックでは、学習を始め、何事にも前向きに取り組み、ある程度粘り強く努力することはできる。しかし、年齢が進むと、自信を失ってしまったり、将来を見失ってしまったりすることが多い。
 ・学習の中に、達成感をもたせるような目標を設置するのが重要であると同様に、自分で未来を切り開いていける力を養うために、キャリアアンカーとなっていくような取組を盛り込んだ、計画的なキャリア教育が必要であると考える。

部分重点課題として設定 (計画と実施・改善 (PDCAサイクルの取組))

高田中ブロック小中一貫の27年度目標

『主体的な学びを生み出す基礎基本の充実~(ストリートスマートの実現を目指して)』
 ~副題~豊かな表現力の育成を目指して

課題を克服するための重点的取組=教科の中での重点とする取組 (計画と実施・改善 (PDCAサイクルの取組))

教科名	教科で目指す子ども像	教科・領域名	教科で目指す子ども像
国語	構成を意識して、話したり書いたりする子ども	図画工作・美術	自分を表現するのに消極的にならず意欲的に取り組む子ども
社会	社会的な事象・事実に対して、友達と見方、考え方を交流しながら、自分なりの考えを表現できる子ども	体育・保健体育	生涯にわたって運動に、安全に親しむ気持ちを持ち、健康が大切であると実感できる子ども
算数・数学	課題を見つけ、学習した知識を活用して、課題を解決し、表現できる子ども	図画工作・家庭科・技術家庭	基礎基本から気付ける、身につけられる子ども
理科	科学的な体験や自然体験を通して、課題を見つけ、主体的に課題解決に取り組む子ども	YICA・英語	恥ずかしがらずに、英語を使って、積極的に自分の気持ちや考えを表現できる子ども
音楽	音楽活動を通して、自分らしい音楽表現を求め、様々な音楽や人々と進んで関わり、音楽活動をする喜びを分かち合う子ども	個別支援	生きるために自分の思いを発信できる子ども ~将来、働ける人になるために~

高田中ブロックの小中一貫教育の具体的取組のイメージ図

